

優れた建築デザインを表彰するドイツの国際的デザイン賞最高位 NOK 本社ビル「ICONIC AWARDS 2024」 Best of Best 受賞

NOK株式会社（本社：東京都港区芝大門、代表取締役 社長執行役員 グループCEO：鶴 正雄、以下「NOK」）は、NOK 本社ビル（所在地：東京都港区芝大門1-12-15）が、ドイツデザイン評議会主催のデザイン賞「ICONIC AWARDS 2024」の建築（Innovative Architecture）部門において最高位である Best of Best を受賞したことをお知らせいたします。本賞は2024年9月に選出され、10月の表彰式を経て、今月に表彰状と盾を受領しました。

「ICONIC AWARDS」は、優れたデザインに対して授与される権威ある国際的な賞です。NOK 本社ビルは、設計から完成に至るまで、一貫して高いレベルのコンセプトと細部へのこだわりが評価され、今回の受賞に至りました。



NOK 本社ビル

■ 審査員コメント

NOK 本社ビルは、一見ありきたりなオープンプランのオフィスビルが、設計から完成まで高いレベルで定義されたコンセプト、ディテール、こだわりにより、いかに特別に美しいものになりえるかを示している。竹中工務店設計部のアイデアは、室内の天井部分に焦点を当てることだった。特徴的な梁は、

外から見てもデザイン要素として認識されることを意図しており、超白色ガラスのカーテンを用い、視覚的に抑制されたファサードとのコントラストを生んでいる。近代的なオフィスビルと、すぐ近くにある伝統的な神社の存在とのバランスが魅力的である。

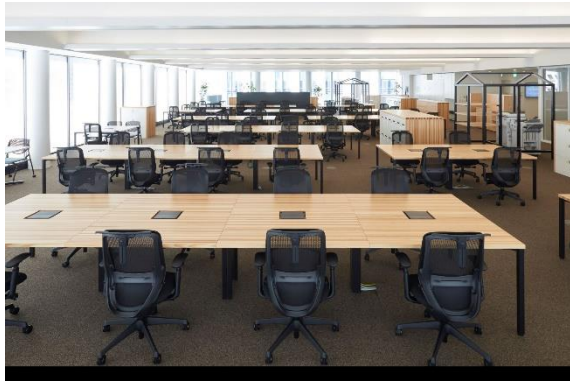
■ NOK 本社ビル 概要

現在の NOK 本社ビルは、グローバルにモノづくりを展開する NOK グループの本社機能を担う中枢拠点として、2020 年 9 月に竣工しました。「Borderless」をコンセプトに、社会とのつながりを大切にし、社内外のメンバーと横断的にコミュニケーションを取りやすい環境を整え、個々の成長を促すオフィスとしてデザインされています。室内には福井県産の杉や埼玉県産のヒノキなど、国産木材を多く使用し、温かみのあるオフィス空間を創出するとともに、地球温暖化防止にも貢献しています。

- ・ 所在地：東京都港区芝大門 1-12-15
- ・ 設計施工：株式会社竹中工務店
- ・ 構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造（免震構造）
- ・ 階数：地上 8 階・地下 1 階
- ・ 延べ床面積・高さ：約 6,600 m²・40m
- ・ 竣工：2020 年 9 月
- ・ 受賞歴：みなとモデル二酸化炭素固定認証制度 2 つ星（2020 年 12 月）
一般社団法人照明学会 施設照明賞（2022 年 4 月）
[みなとモデル二酸化炭素固定認証表彰制度 優秀賞（2022 年 10 月）](#)
International Architecture & Design Awards 2023 金賞（2024 年 1 月）
ICONIC AWARDS 2024 Innovative Architecture Best of Best（2024 年 9 月）



隣の芝大神宮から見た NOK 本社ビル



特徴的な梁のある執務エリア



木材を多く使用したラウンジ

■ ICONIC AWARDS について

ICONIC AWARDS は、ドイツデザイン評議会が主催する国際的なデザイン賞で、建築を取り巻くすべてのデザインを表彰します。建築、インテリア、プロダクト、コミュニケーション、コンセプトの5つのカテゴリーが分かれており、各々に受賞作品が選出され、優秀な作品から順に「Best of Best」「Winner」「Selection」が授与されます。2024年は、36か国より応募された540作品の中から、Best of Bestには55プロジェクトが選ばれました。

・ URL (英語) : <https://en.innovative-architecture.de/>

リリースに関するお問い合わせ

NOK 株式会社 CEO オフィス コーポレートアフェアーズ コーポレートコミュニケーション部

TEL:03 - 5405 - 6372 Mail : mb_nok_corporate_affairs@jp.nokgrp.com

■ NOK 株式会社

NOK グループは「Essential Core Manufacturing — 社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を掲げ、豊かな社会の根幹となる「安全」と「快適」を支えています。15の国と地域に所在するグループ93社、約38,000人で、積み重ねた基礎研究に基づく製品開発、高品質での大量・安定生産を実現しています。自動車をはじめとするモビリティ、PCやスマートフォンに代表される電子機器、OA機器、医療・ヘルスケア機器、産業用ロボット、そして人工衛星など、あらゆる産業分野に技術・製品を提供し続けます。